

アフターマッチミーティングについて

アフターマッチミーティングとは、「試合終了後に両チームのメンバーがお互いの健闘を称えあう場」と定義致します。

JCカップでは行われるすべての試合終了後アフターマッチミーティングを実施し、真剣勝負の先にある勝ち負けを超えた真の相手へのリスペクトを引出し、互いを認め合える包摂心を育みます。

試合終了後、試合に参加した2チームの選手とチーム関係者、監督・父兄、青年会議所メンバーを交えて、その後の試合進行に支障が出ないよう臨機応変に場所を移動して、行われた試合について話し合う時間を設けます。

青年会議所メンバーがその場を仕切り、両キャプテンを中心に相手チームを称え合い、今まさに戦い終えたからこそ言葉にできる率直な意見を相手選手から直接話しかけることで、他者の失敗を許す気持ちや相手の勝利や成功を喜んであげられる包容力を育む経験を得ることができると考えます。また選手だけでなく、監督や父兄と言った関係者にもこのミーティングに参加いただき、JCカップに参加する全ての方の包摂心を育みます。

この時間を設けることで、選手間のコミュニケーションはもちろん、グッドルーザーの精神を体現することができます。

【ルール】

- 1 ミーティング時間はスケジュールを考慮して10分以内で行うこと。
- 2 熱中症リスクを考え、日陰で行うこと。
- 3 進行は青年会議所メンバーが行うこと。
- 4 試合終了後に行うため、熱中症に注意し、必要に応じて給水の呼びかけを行うこと。
- 5 一人でも多くの選手に話す機会を与えるよう進行すること。(時間がなくても両チームのキャプテンには必ず発言させてください。)
- 6 相手チームを称え合うこと。
- 7 監督や父兄などチーム関係者にもミーティングに参加いただくこと。
- 8 ミーティングは別添の進行シナリオの通りに進めること。
- 9 1.2試合目は冒頭に書面でのアンケート記載を設け、設問内容は対戦相手へのリスペクトと自身チーム関係者に対する感謝とする。
- 10 MTG終了時は応援サポーターが発言されていない選手に対する評価すべき項目を発表し、総括を行い、他者の行動に対する理解と思いやりを深める機会とする。